

星に長生きをお願いしよう

星に願いを...なんて言いますが（そんな歌もありますね）、見ることができると長生きできる、そんな言い伝えのある星が2月の上旬に見ごろを迎えます。とはいえ、見ること自体はとても難しいのです。この冬、ぜひチャレンジしてみませんか？

南極老人星・カノーパス

りゅうこつ座にカノーパスという1等星があります。冬の星空というと明るい星が多く、1等星が7つある、とよく言われますが、実はカノーパスは隠れた“8番目”の1等星なのです。

日本の九州以北や中国中北部では地平線スレスレにしか昇らないカノーパス、中国では古来から「南極老人星」と呼んで、見ると長生きできる、と伝えられてきました。



↑ りゅうこつ座とカノーパス

りゅうこつ(竜骨)とは船の背骨とも言うべき構造物のこと。元々はほ(帆)座・とも(船尾)座、らしんばん(羅針盤)座とともにアルゴ船座を形作っていました。

← 2月5日21時の南の空

とっても低いカノーパス

なぜ見ると長生きできると言われるようになったか、それは見にくいからです。りゅうこつ座は南天の星座。カノーパスの地平線からの高さは、平塚では南中時でも2度にも満たないのです。地平線まですっきりと晴れた日を選んで観察しないと見ることは難しいのです。2月上旬から中旬の21時頃が見やすいでしょう。位置は冬の冬の大三角のほぼ真下です。1等星とはいえども大気のせいで暗く見えるので、探すときは双眼鏡などがあるとべんりでしょう。